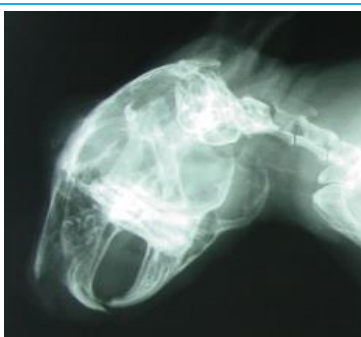
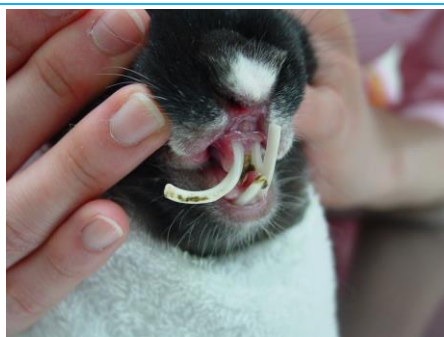


不正咬合



① 伸びすぎた前歯

② 伸びすぎた奥歯のレントゲン像

③ 奥歯の過長により傷ついた口腔内粘膜

ウサギの歯は生涯伸び続けるので咬み合わせが悪くなると伸び過ぎて口の中を傷つけてしまいます。前歯が伸び過ぎた場合は外から見えるので、観察していれば発見できます①。奥歯が伸び過ぎた場合は外からの観察だけでは判断が難しく②③、伸びた歯が口の中の粘膜を傷つけたり、歯の根元に痛みを生じることで食欲不振になります。口の中が傷ついて膿瘍になった場合、完治しなくなることもあるので早めの治療が必要となります

症状

食欲が落ちて口の周りがよごれたりします。下あごや首のあたりにしこりや脹らみがある時は、奥歯の不正咬合が原因の場合があります。また歯が悪くなるとグルーミングをやらなくなるのでお尻の辺りの毛が固まっていることがあります。

学校でのケア

前歯が伸びすぎた場合は歯科用ドリルやニッパーのようなもので切ってヤスリで削ります。爪切りなどで切ると歯が割れて感染を起こす恐れがあります。まずは動物病院に相談して下さい。一度咬み合わせが悪くなった場合は定期的に切る必要があります。前歯なら毎月1回は必要です。

予防・学校での注意事項

不十分な咀嚼と歯の運動不足は歯の病気を引き起こす可能性があります。ペレットタイプの固形食だけではなく、牧草などいつでも食べられるものを置いておくことは大切です。一生涯付き合っていく病気ですので食欲や体重、糞の変化などに気を付けましょう。

キーワード：食欲不振・歯・よだれ